

# 明石市生涯学習センター及びあかし男女共同参画センターの 管理運営状況報告(2022年度)

施設所管課	市民生活局市民協働推進室 コミュニティ・生涯学習課
-------	------------------------------

## 1 指定管理者

- (1) 指定管理者 一般財団法人明石コミュニティ創造協会
- (2) 指定期間 2017年4月1日～2023年3月31日
- (3) 管理体制 財団職員28名(正規職員11名、パート職員17名、他業務との兼務職員10名含む)

## 2 評価項目

### (1) 利用者アンケート

①ウイズあかし利用者アンケート調査結果

(実施期間：2023年3月1日～3月31日 回答数：339件)

質問項目	2022年度						2021年度					
	ほぼ毎日	週1.2回	月1.2回	半年1.2回	初めて	未回答等	ほぼ毎日	週1.2回	月1.2回	半年1.2回	初めて	未回答等
利用頻度	1.8%	16.8%	51.0%	17.7%	7.7%	5.0%	1.3%	23.5%	53.5%	11.0%	3.5%	7.2%
質問項目	会議・研修・教室	催物	趣味の集まり	窓口への相談	その他	未回答	会議・研修・教室	催物	趣味の集まり	窓口への相談	その他	未回答
来た目的 (複数回答可)	51.0%	11.5%	19.2%	3.2%	12.7%	8.3%	55.9%	4.2%	23.0%	0.9%	14.7%	7.2%

※ 複数回答の場合、総和は100%を超えます。

### ②利用者からの主な要望とその対応等

- ・和室に椅子の追加を用意してほしいとの要望に対し、和室貸出用のパイプ椅子(最大5脚まで)を用意した。パイプ椅子利用の際に畳が傷むので、ゴザを敷いた上での利用を依頼していく。
- ・隣の部屋の音が大きい。どンドン音がして昨年から気になるとの意見があり、意見をいただいたその日に声や音が気になることを直接伝えた。併せて今後の利用の際に同じようなことがあれば注意することを伝えた。

### (2) 事業達成度

#### ①事業・業務の実施状況

運営業務	<p>&lt;開館日数：310日 総入場者数：196,805人&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内5か所に意見や要望を記入できるように机を常設し、利用者が意見や要望を発信しやすい場を設けた。</li> <li>・WEB予約や抽選を推進するため、ディスプレイを窓口に設置し、予約・抽選方法などの動画を流す取り組みを始めた。</li> <li>・SNSの特徴である「拡散力」を活かすために、発信の回数を増やすことと多様な視点で発信できるように意識しながら継続的に情報の提供を行った。</li> <li>・紙媒体として、テーマに合わせてデータやそれに関する本の紹介を掲載するパスファ</li> </ul>
------	--

	<p>インダー（道しるべ）と、市民が明石のまちなかでの活動や学びにつながるためのイベント情報誌（Ru、Ru、Ru）などを発行することで、来館者が気づきを得るためのきっかけづくりに努めた。</p>																														
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員による毎朝清掃作業の実施や清掃スタッフを定期的に巡回させ、施設利用直後に清掃を行った。</li> <li>・適切な保守・点検を定期的実施し、円滑な施設の管理運営を実施した。</li> <li>・施設老朽化の状況を把握し、設備に不具合があれば修繕を行うなど適切に対応した。</li> </ul>																														
実施事業	<p>・合計25事業を実施。主なものは以下のとおり（一部延べ人数）。</p> <p>(1)生涯学習事業の推進</p> <table border="1"> <tr> <td>あかし楽講座（オンライン受講併用）：「聞く」と「体験」で学びを深めるようフィールドワークなどを取り入れた。</td> <td>9講座実施、 受講者：67名</td> </tr> <tr> <td>ウィズフェス2022キックオフミーティング</td> <td>参加者：90名(団体 71団体)</td> </tr> <tr> <td>ブックスポットミーティング：本を通じた交流の場のオーナーや参加者との事例紹介や情報交換でお互いの学びの場</td> <td>1講座実施 参加者：12名</td> </tr> <tr> <td>広報スキルアップ講座：市民講師の人材育成の一環</td> <td>1講座実施 参加者：6名</td> </tr> <tr> <td>講師カタログ2023作成：市民講師に関する情報提供により多様な市民講師による学びがまちなかに広がるきっかけを。</td> <td>掲載者数：33講師</td> </tr> </table> <p>(2)市民活動の支援及び地域、行政との協働の推進</p> <table border="1"> <tr> <td>ウィズフェス2022：出展者でスペシャルチーム「フェスコミ」を結成し、出展者間のつながりやコラボを意識した出展を目指した。</td> <td>2日間実施、 来場者：約1,600名</td> </tr> <tr> <td>登録団体制度</td> <td>172団体</td> </tr> <tr> <td>フリースペースでのイベント</td> <td>実施：197件、 来場者：2,939名</td> </tr> <tr> <td>第1回「ウィズゆう」（オンライン参加併用） 登録団体間の情報交換や交流する機会の提供</td> <td>35団体・37名参加</td> </tr> <tr> <td>第2回「ウィズゆう」（オンライン参加併用）</td> <td>40団体・50名参加</td> </tr> <tr> <td>第3回「ウィズゆう」（オンライン参加併用）</td> <td>22団体・24名参加</td> </tr> </table> <p>(3)男女共同参画・女性の活躍推進</p> <table border="1"> <tr> <td>きっかけとしての多様な学びの実施事業： 生きづらさの要因を正しく知り、自分に合った対処法やケアを理解、習得を目的</td> <td>「コラージュで自己表現」 5回開催、参加者：31名</td> </tr> <tr> <td>多様性に関する普及啓発事業</td> <td>「HSPの良さを活かす考え方とコミュニケーション」等、5企画実施、参加者：590名</td> </tr> <tr> <td>ひとりひとりの自立を促す相談・支援事業</td> <td>「女性限定！はじめての資産運用講座」等 5講座・セミナー実施 参加者：119名</td> </tr> <tr> <td>ワークライフ・マネジメントについて考える機会提供事業</td> <td>「起業準備セミナー」 参加者：8名</td> </tr> </table>	あかし楽講座（オンライン受講併用）：「聞く」と「体験」で学びを深めるようフィールドワークなどを取り入れた。	9講座実施、 受講者：67名	ウィズフェス2022キックオフミーティング	参加者：90名(団体 71団体)	ブックスポットミーティング：本を通じた交流の場のオーナーや参加者との事例紹介や情報交換でお互いの学びの場	1講座実施 参加者：12名	広報スキルアップ講座：市民講師の人材育成の一環	1講座実施 参加者：6名	講師カタログ2023作成：市民講師に関する情報提供により多様な市民講師による学びがまちなかに広がるきっかけを。	掲載者数：33講師	ウィズフェス2022：出展者でスペシャルチーム「フェスコミ」を結成し、出展者間のつながりやコラボを意識した出展を目指した。	2日間実施、 来場者：約1,600名	登録団体制度	172団体	フリースペースでのイベント	実施：197件、 来場者：2,939名	第1回「ウィズゆう」（オンライン参加併用） 登録団体間の情報交換や交流する機会の提供	35団体・37名参加	第2回「ウィズゆう」（オンライン参加併用）	40団体・50名参加	第3回「ウィズゆう」（オンライン参加併用）	22団体・24名参加	きっかけとしての多様な学びの実施事業： 生きづらさの要因を正しく知り、自分に合った対処法やケアを理解、習得を目的	「コラージュで自己表現」 5回開催、参加者：31名	多様性に関する普及啓発事業	「HSPの良さを活かす考え方とコミュニケーション」等、5企画実施、参加者：590名	ひとりひとりの自立を促す相談・支援事業	「女性限定！はじめての資産運用講座」等 5講座・セミナー実施 参加者：119名	ワークライフ・マネジメントについて考える機会提供事業	「起業準備セミナー」 参加者：8名
あかし楽講座（オンライン受講併用）：「聞く」と「体験」で学びを深めるようフィールドワークなどを取り入れた。	9講座実施、 受講者：67名																														
ウィズフェス2022キックオフミーティング	参加者：90名(団体 71団体)																														
ブックスポットミーティング：本を通じた交流の場のオーナーや参加者との事例紹介や情報交換でお互いの学びの場	1講座実施 参加者：12名																														
広報スキルアップ講座：市民講師の人材育成の一環	1講座実施 参加者：6名																														
講師カタログ2023作成：市民講師に関する情報提供により多様な市民講師による学びがまちなかに広がるきっかけを。	掲載者数：33講師																														
ウィズフェス2022：出展者でスペシャルチーム「フェスコミ」を結成し、出展者間のつながりやコラボを意識した出展を目指した。	2日間実施、 来場者：約1,600名																														
登録団体制度	172団体																														
フリースペースでのイベント	実施：197件、 来場者：2,939名																														
第1回「ウィズゆう」（オンライン参加併用） 登録団体間の情報交換や交流する機会の提供	35団体・37名参加																														
第2回「ウィズゆう」（オンライン参加併用）	40団体・50名参加																														
第3回「ウィズゆう」（オンライン参加併用）	22団体・24名参加																														
きっかけとしての多様な学びの実施事業： 生きづらさの要因を正しく知り、自分に合った対処法やケアを理解、習得を目的	「コラージュで自己表現」 5回開催、参加者：31名																														
多様性に関する普及啓発事業	「HSPの良さを活かす考え方とコミュニケーション」等、5企画実施、参加者：590名																														
ひとりひとりの自立を促す相談・支援事業	「女性限定！はじめての資産運用講座」等 5講座・セミナー実施 参加者：119名																														
ワークライフ・マネジメントについて考える機会提供事業	「起業準備セミナー」 参加者：8名																														

(4)市民活動団体や女性活躍推進に係るネットワークとの連携	
兵庫県	「LGBTQ+/SOGIE 講座」等 3 企画実施
ハローワーク	「働きたいママの再就職準備セミナー」実施
明石商工会議所、明石市産業振興財団、日本政策金融公庫	「起業応援セミナー」実施
(5)生涯学習、市民活動、男女共同参画が連動した事業	
複合型イベント・講座（オンラインによる交流機会支援）	「はじめてのZOOM体験会」 参加者：2 名
クロスカフェ：他者との共有を通じて自己肯定感を高める場、多様な人とつながり、新しいものに出会う場	「おとなのぬりえサロン」等、4 企画実施、 参加者：276 名
本をツールとした集まりの場	「本をとおして自分と向き合う時間」 5 回開催 参加者：55 名
(6)各種相談	
生涯学習・市民活動について	相談：349 件（昨年度の 2.4 倍）、コーディネート：73 件（昨年度の 1.8 倍）
女性のための相談	電話：851 件、面接 224 件
女性のための法律相談	相談：42 件
就業相談	電話：21 件、面接 272 件 若年層や発達障害を持つ方などに新たに「OHBYカード」を活用
夜の就業相談	面接：2 件
履歴書・職務経歴書の作成相談	相談：62 件
カードで発見！適職のヒント	相談：72 件
出張就労相談（子育て支援センターおおくぼ・にしあかし・うおずみ）	相談：27 件
女性のためのチャレンジ相談	面接：16 件
男性のための電話相談	相談：30 件
その他業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸学院大学/大学院心理学部の現場実習施設として、実習生の受け入れを行った。</li> <li>・あかし若者サポートステーション利用者を対象に、ボランティアの場を月 1 回提供した。</li> <li>・相談員や職員の能力向上のために外部研修を行った。次年度からスタート予定のグループ相談に向けて、ファシリテート技術を学んだ。</li> </ul>

## ②施設等の利用状況

実施状況（実績）	2022年度	2021年度	2020年度
利用者数（有料施設）	151,146人	107,180人	84,932人
利用回数	8,033回	6,733回	5,481回
稼働率	65.4%	54.7%	50.2%

(参考) 2022年度 各貸室の利用状況

	稼働率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
学習室 701	70.9	846	14,067
学習室 702	75.6	541	6,335
学習室 703	73.8	594	8,988
小計	72.8 (目標 68.0) (2019 73.4)	1,981	29,390
学習室 704	73.2	704	28,497
学習室 801	79.1	809	19,624
学習室 802	73.3	608	8,943
学習室 803	71.2	572	11,507
学習室 804	77.7	592	3,777
学習室 805	67.4	535	2,770
調理実習室	36.1	258	3,885
和室	51.3	418	4,486
子午線ホール	54.4	286	32,230
リハーサルスタジオ	44.9	353	3,444
音楽練習室 1	70.6	621	1,661
音楽練習室 2	34.6	296	932
小計	63.3 (目標 58.0) (2019 63.4)	6,052	121,756
合計	65.4	8,033	151,146

(3) 事業収支

①収支状況

(単位：千円)

項目	2022年度	2021年度	2020年度
<b>収入合計(A)</b>	<b>141,269</b>	<b>125,262</b>	<b>119,246</b>
指定管理料	95,817	88,817	89,300
利用料収入	44,219	34,038	23,227
内訳 実施事業収入	1,199 (内 指定事業 461、独自事 業738)	748 (内 指定事業 271、独自事 業477)	724 (内 指定事業 324、独自事 業400)
精算返戻金	△1,168	0	0
その他収入	1,202	1,659	5,995

支出合計(B)		143,282	126,831	118,932
内訳	人件費	52,309	55,300	49,749
	管理費（事務費、物件費、 一般管理費を含む）	82,238	62,586	61,627
	負担金	425	265	145
	実施事業費	1,622 （内 指定事業 1,168、独 自事業454）	1,753 （内 指定事業 1,319、独 自事業434）	1,753 （内 指定事業 1,228、独 自事業525）
	公租公課	6,622	6,926	5,657
	その他支出	66	1	1
収支(A-B)		△2,013	△1,569	314

## ②市の使用料等の収入状況

なし

## 3 その他評価の参考となる特記事項

- ・8階印刷室にコインベンダーを3月下旬に導入し、利用者のニーズがあった、料金支払いから領収書発行まで自らできるようにした。そのことにより利用者の利便性を向上させた。
- ・電気料金の高騰に対応するため、館内照明LED化を進め、3月末現在で370か所のうち356か所を完了させた。
- ・あかし学実行委員会を設け、あかし楽講座について、歴史の視点だけでなく、多様な視点から明石のまちの魅力に気づき、愛着を持ち、市民がまちに関わりたいと思える機会にするため、次年度以降のリニューアルを目指している。
- ・今年度は、参加者やサポーターの交流機会を設けつつ、参加者等のステップアップを目指す「ウイズフェス2022」を開催するにあたり、参加者（団体含む）やサポーターが企画・運営に参加する機会を与え、「ウイズフェスをみんなで一緒につくるもの」という意識を持つように促した。
- ・ウイズあかし運営委員会を引き続き設置、開催し、センター運営への市民参画できる機会を提供した。また、ウイズあかしサポーター制度を継続し、市民が主体的に運営に参加できる機会を提供した。

## 4 所管課総合評価

・利用者アンケートの顧客満足度において、満足が、64.0%、やや満足が23.9%となり、良好な結果が得られた。事業達成度では、2019年度貸館稼働率65.7%とほぼ同様の65.4%にいたっており、2021年度と比較すると、稼働率10.7%の増、貸館利用者43,966人の増となっている。事業計画で示した目標値を上回り、新型コロナウイルスの影響がほぼなくなったことを数値が表している。

各事業において、参加の間口を広げる仕組づくりとして、引き続きオンライン受講と会場受講を併用している。また、事業の中に参加者やサポーターの交流機会を組み込み、新たなつながりづくりの機会を設け、参加者同士の学び、気づきを深める工夫を行っている。

館内各フロアにチラシラックを設置し、イベントや講座等の情報提供を行っているが、新たに8階に情報ブースとして、市内で開催されるイベントや活動の情報を集約したコーナーを設置するなど、概ね事業計画どおり適正に実施されている。

その結果、利用者アンケート内容（複数回答可）が、「新しい知識・情報を得た」42.5%、「生活が楽しくなった」24.2%、「友人や知り合いができた」18.9%、「生きがいを持つことができた」14.2%、「健康になった」9.4%と示すように、センター利用をきっかけに利用者に前向きな変化を与えることとなった。

・施設維持管理業務においても適時適切に実施され、効率的・効果的な施設管理に努めている。施設の老朽化に伴う課題もあるが、引き続き市と協議の上、適切な対応を求めている。

・職員研修、個人情報保護や安全面での対応については、各種の取り組みを行っており、適正に実施されている。

以上のことから、2022年度において、指定管理者による適正な管理運営がなされていると判断する。